

## 【浄土真宗の生活信条】

浄土真宗の生活信条は、一九五八（昭和三十三年）四月十六日に発布の、大谷本廟親鸞聖人七百回大遠忌法要「御満座の消息」において勝如上人（前門様）がお示しになられたものです。

### 大谷本廟親鸞聖人七百回大遠忌法要「御満座の消息」

このたび 宗祖親鸞聖人の七百回大遠忌法要を 大谷本廟において予修いたしましたところ 遠近各地より多数の御同朋参詣せられ 堂内にあふれるお念仏のうちに ただ今にぎにぎしく御満座となりましたことは ひとえに聖人御遺徳のたまものと ころから感佩するところであります

おもつに聖人は 深く阿弥陀如来の本願を信じ 大悲に救われてゆく喜びの上から 常に真剣に報恩謝徳の道を歩まれ 世のなか安穩なれ仏法ひろまれと 尊い九十年を生き抜かれたのであります この厳肅な聖人の御生涯こそ真宗繁昌の源であり お流れをくむもののひとしく御恩徳を讃嘆するところであります

されば このたびの御法要におあいした所詮には 仰いで聖人の御一生を鑑として おのおのうるわしい信仰生活にいそまれるよう ここに真宗の生活信条を示します

#### 一、み仏の誓いを信じ

尊いみ名をとなえつつ 強く明るく生き抜きます

#### 一、み仏の光をあおぎ

常にわが身をかえりみて 感謝のうちに励みます

#### 一、み仏の教えにしたがい

正しい道を聞きわけて まことのみのりをひろめます

#### 一、み仏の恵みを喜び

互いによやまい助けあい 社会のために尽くします

いよいよ昭和三十六年の大遠忌正当も間近にせまりました 今こそこの生活信条を肝に銘じ 力強くこれを実行して 浄土真宗の興隆につとめ 社会の福祉につくしていただきたいものであります

願くは 御同朋の方々 ますます如来のお慈悲を喜び 相携えて念仏の生活に徹し 真宗教徒の本分を全うせられるよう 切に念願するところであります

昭和三十三年四月十六日

龍谷門主 釈 勝 如